



公用車として2台目の  
燃料電池自動車「MIRAI」納車式を開催します



ターゲット 7.1

令和3年12月20日  
郡山市環境部  
環境政策課  
担当：伊坂 透  
TEL：924-2731

SDGs ターゲット 7.1 「安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。」

市内における水素利活用推進を図るとともに、市民の水素利活用の理解を深めるため、公用車として2台目の燃料電池自動車「MIRAI」納車式を開催します。

- 1 日時 12月22日(水) 11時00分～11時30分
- 2 場所 郡山市水素ステーション前(郡山市役所内)  
※雨天時はヨーク開成山スタジアム入り口付近で開催します。
- 3 出席者 ネットヨタ郡山株式会社 代表取締役社長 小室 和人 様  
市長
- 4 内容 (1) 開会  
(2) 市長あいさつ  
(3) 鍵レプリカ受領  
(4) 閉会
- 5 その他 「MIRAI」と併せ、災害時等に外部給電することができる外部給電器を導入します。



郡山市水素ステーション位置図

※12月17日にプレスリリースしておりましたが、「県内初となる公用車として2台目の燃料電池自動車」が誤りだったため、「公用車として2台目の燃料電池自動車」として、本資料のとおり修正いたします。

# 燃料電池自動車「MIRAI」の導入について

## ◆ 目的

- 本市においては、2019年11月に「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を表明
- 2021年3月に「郡山市気候変動対策総合戦略」を策定。  
「再エネの活用と水素社会の実現に取り組むまち」を掲げ、次世代自動車の普及を推進。
- 燃料電池自動車は水素を燃料とし、水素と空気中の酸素により発電した電気で走行するため、排出されるのは水だけであり、走行時に温室効果ガスを一切排出しない究極のクリーンカーともいわれる。
- 災害時等において、燃料電池自動車ですべての電力が切れた避難所等へ駆けつけ、給電が可能。  
→公用車として2台目の燃料電池自動車「MIRAI」と、外部給電器を導入

## ◆ 燃料電池自動車について

項目	内容
車名（メーカー）	MIRAI（トヨタ）
走行可能距離	750km（カタログ参考値）
水素充填量	約5.6kg
給電能力	・一般家庭へ約4日電力供給可能（水素満充填時） ※使用電力量約10kWh/日（消費電力400w/時）の場合 ・AC100Vコンセント×2（最大1,500W）車内に装備 ・USB端子×2を車内に装備 ・外部給電器を接続して車外に給電可能（下記参照）

## ◆ 外部給電器について

項目	内容
品名（メーカー）	パワー・ムーバーライト（ニチコン）
給電能力	3.0kw、AC100Vコンセント（1,500W）×2

## ◆ その他

2022年2月に郡山市安積町に商用定置式水素ステーション開所予定